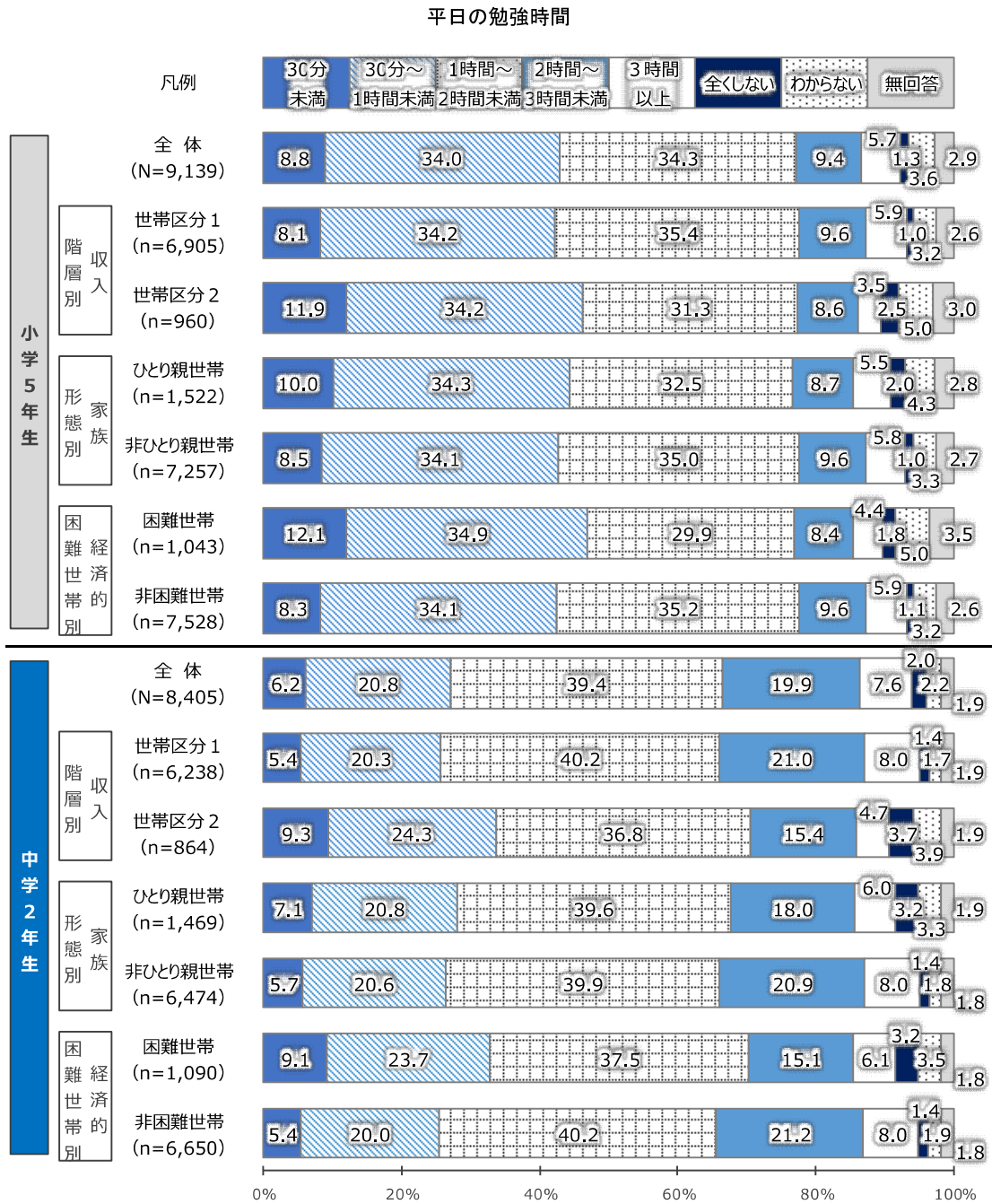


3. 学校や勉強について

問 23 あなたは、平日（学校がある日）に授業以外に1日どれくらい勉強（放課後児童クラブや塾、宿題などの時間も含まれます）していますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

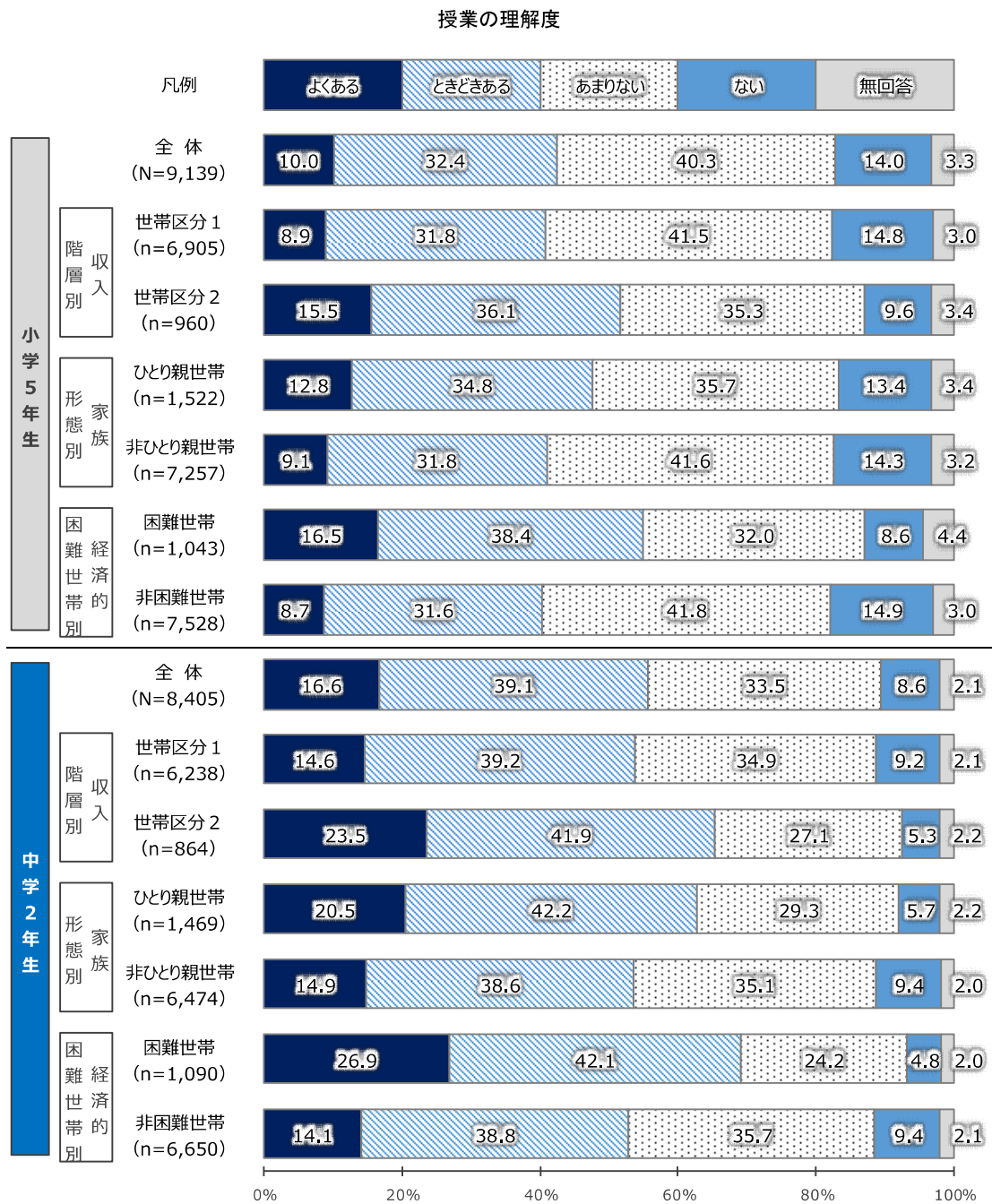
平日1日の勉強時間については、小学生及び中学生とも「1時間～2時間未満」が最も高いが、『2時間以上』では中学生が小学生より多くみられる。なお、小学生及び中学生ともに「全くしない」は数パーセントにとどまっている。



問 24 あなたは、学校の授業がわからないと思うことがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

学校の授業がわからないことについては、小学生は『ある』(「よくある」、「ときどきある」の合計)が42.4%、『ない』(「あまりない」、「ない」の合計)が54.3%と、『ない』が『ある』を上回っている。一方、中学生は『ある』(「よくある」、「ときどきある」の合計)が55.7%、『ない』(「あまりない」、「ない」の合計)が42.1%と、『ある』が『ない』を上回っている。

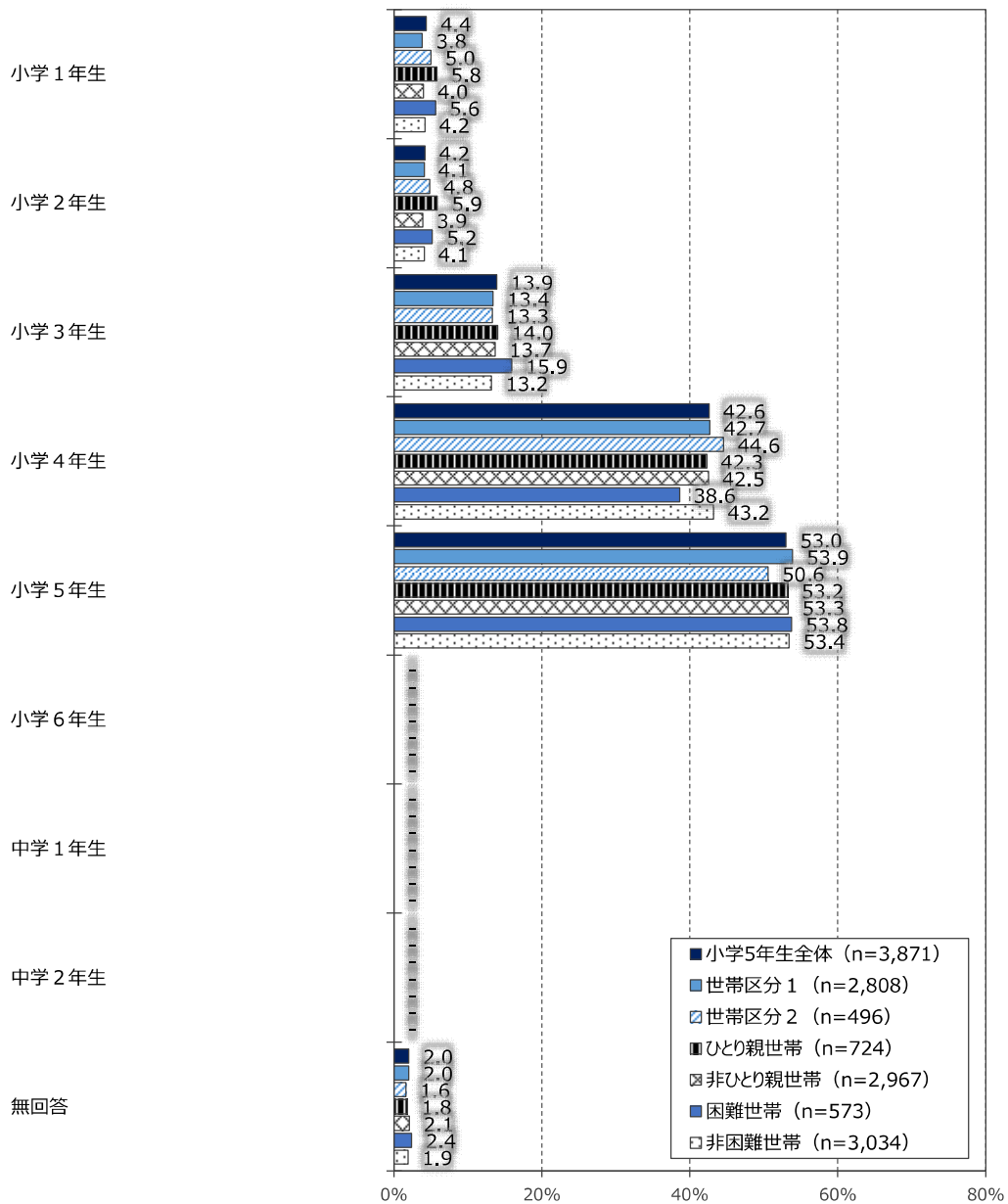
また、小学生及び中学生ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より『ある』の割合が高くなっている。



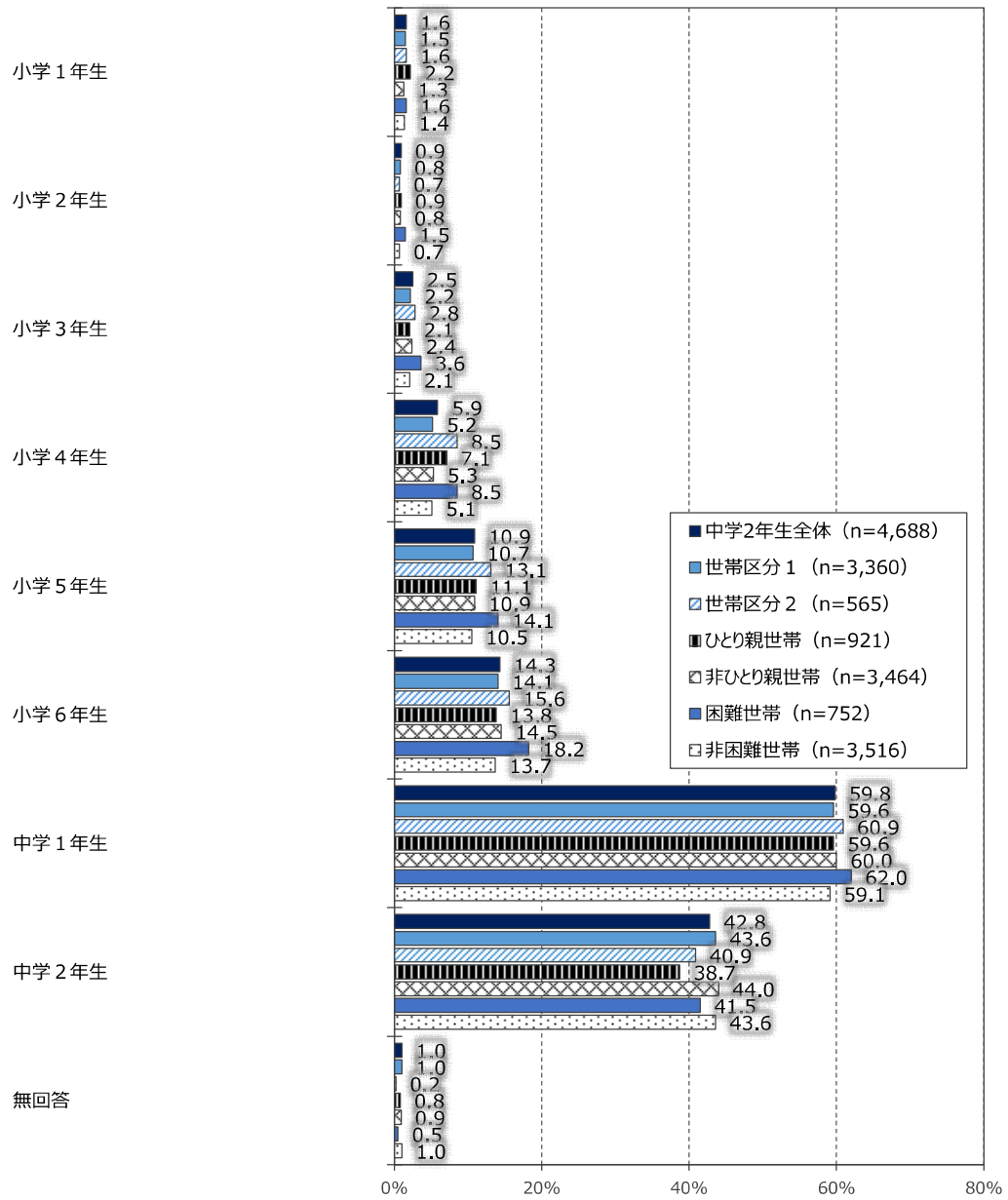
問 24-1 【問 24 で学校の授業がわからないと思うことが「1. よくある」「2. ときどきある」と答えた方にお聞きします。】いつ頃ごろから授業がわからなくなりましたか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

学校の授業がわからないことが『ある』と答えた人の時期については、小学生は「小学5年生」が 53.0%で最も高く、次いで「小学4年生」(42.6%)、「小学3年生」(13.9%)となっている。一方、中学生は「中学1年生」が 59.8%で最も高く、次いで「中学2年生」(42.8%)、「小学6年生」(14.3%)となっている。

授業がわからなくなった時期(小学5年生)



授業がわからなくなった時期(中学2年生)



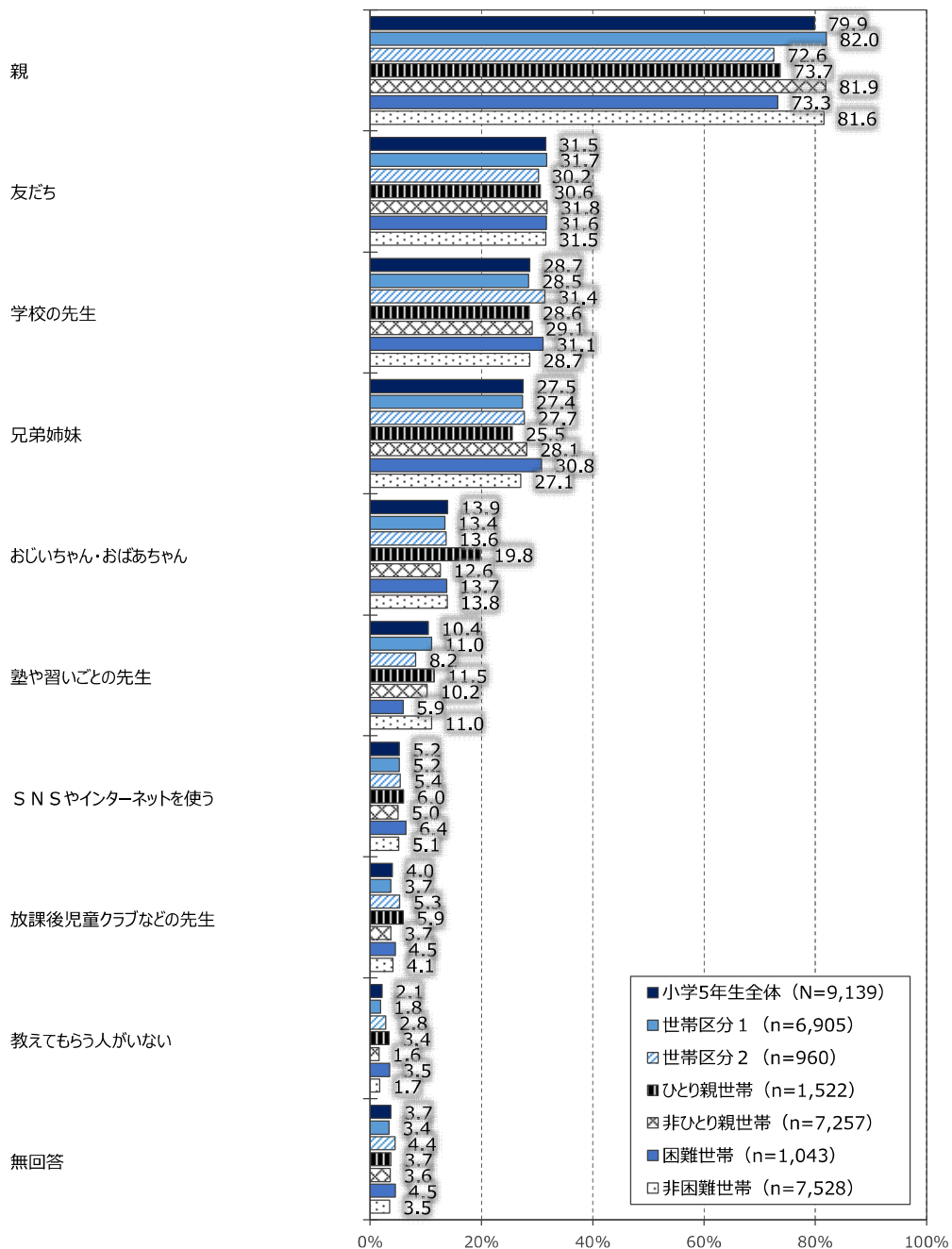
問 25 あなたは、勉強がわからないときは誰に教えてもらいますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

勉強がわからない時、教えて欲しい相手については、小学生は「親」が79.9%と圧倒的に高く、以下、「友だち」(31.5%)、「学校の先生」(28.7%)、「兄弟姉妹」(27.5%)と続いている。

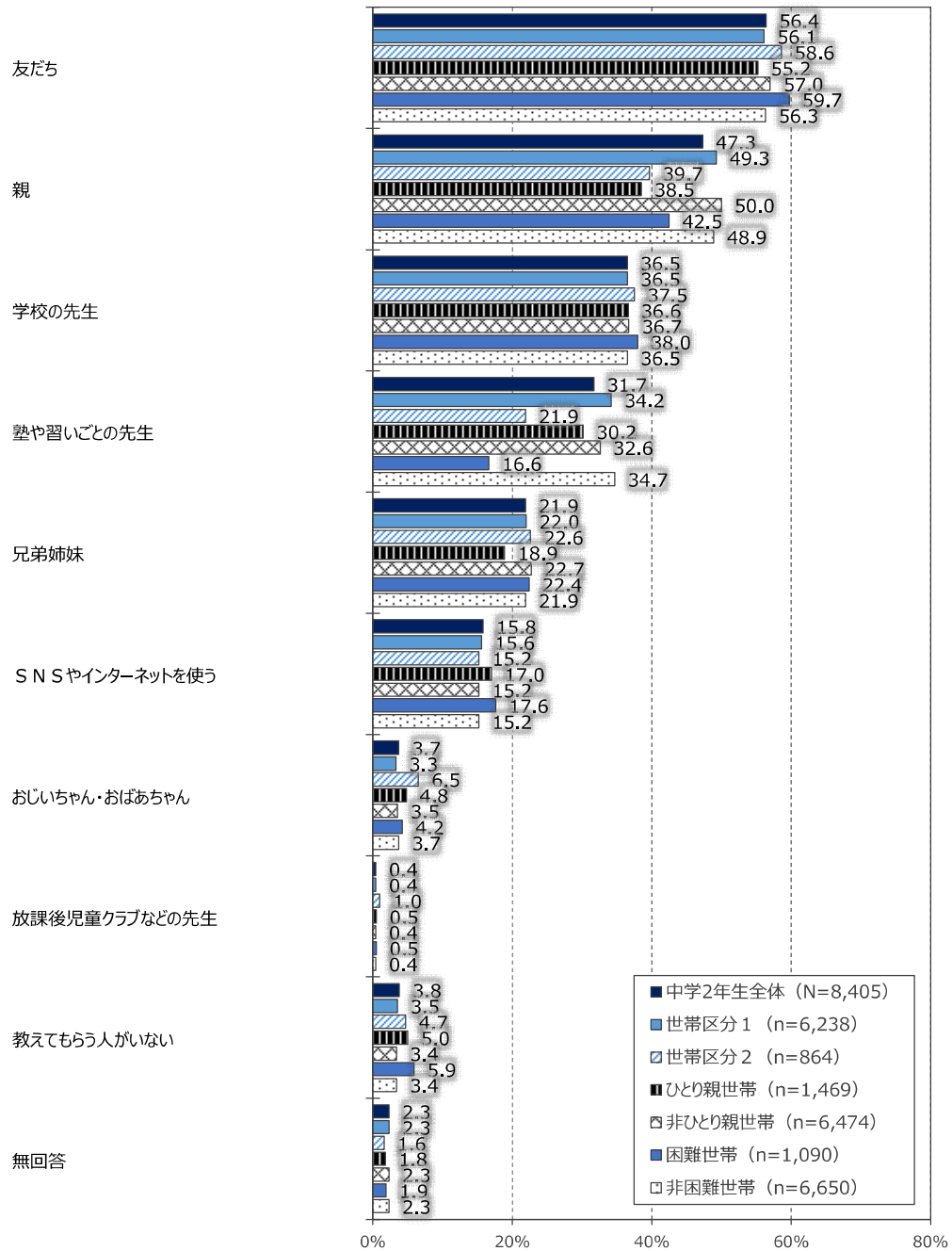
一方、中学生は「友だち」が56.4%で最も高く、次いで「親」(47.3%)、「学校の先生」(36.5%)、「塾や習ならいごとの先生」(31.7%)となっている。

また、小学生及び中学生ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「親」の割合が低くなっている。

勉強を教えてもらう相手(小学5年生)



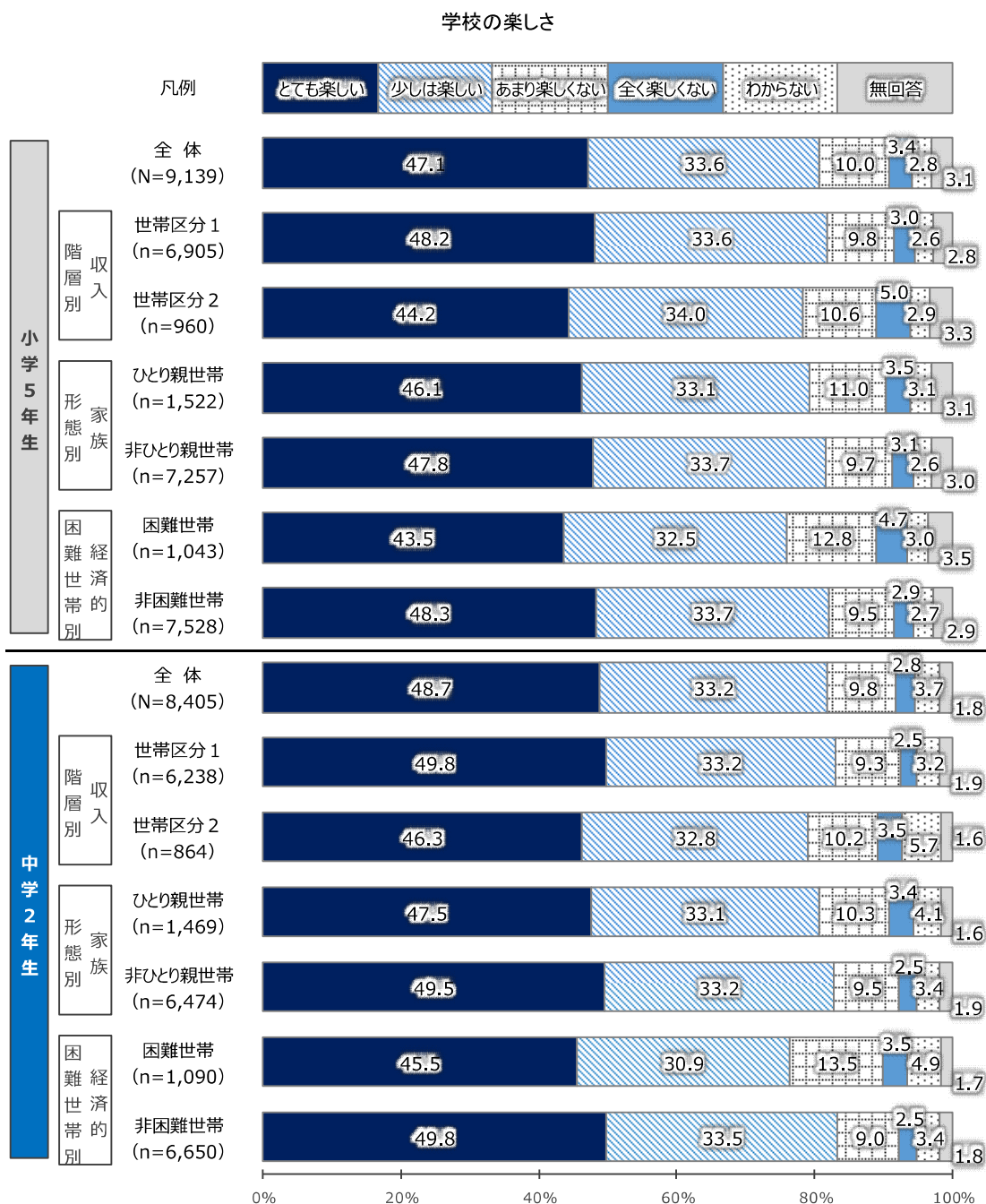
勉強を教えてもらう相手(中学2年生)



問 26 あなたは、学校は楽しいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

学校は楽しさについては、小学生は「とても楽しい」が47.1%、「少しは楽しい」が33.6%と、これらを合わせた『楽しい』は8割を占めており、『楽しくない』（「あまり楽しくない」、「全く楽しくない」の合計）は13.4%にとどまっている。一方、中学生においても「とても楽しい」が48.7%、「少しは楽しい」が33.2%と、これらを合わせた『楽しい』は8割を占めており、『楽しくない』（「あまり楽しくない」、「全く楽しくない」の合計）は13.4%にとどまっている。

また、小学生及び中学生ともに、困難世帯は非困難世帯より『楽しい』の割合が低くなっている。

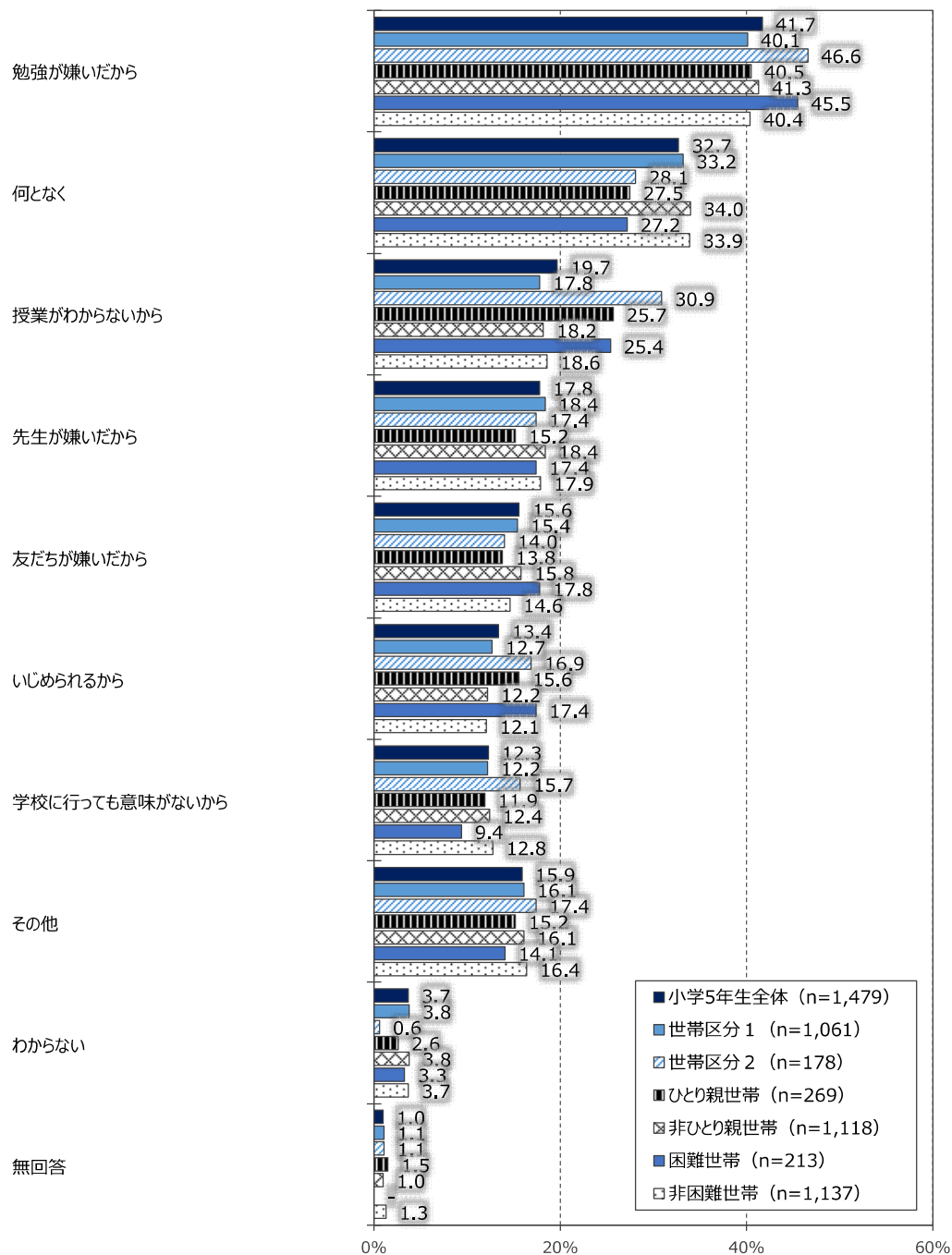


問 26-1 【問 26 で「3. あまり楽しくない」「4. 全く楽しくない」「5. わからない」と答えた方にお聞きします。】あなたがそう思う理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

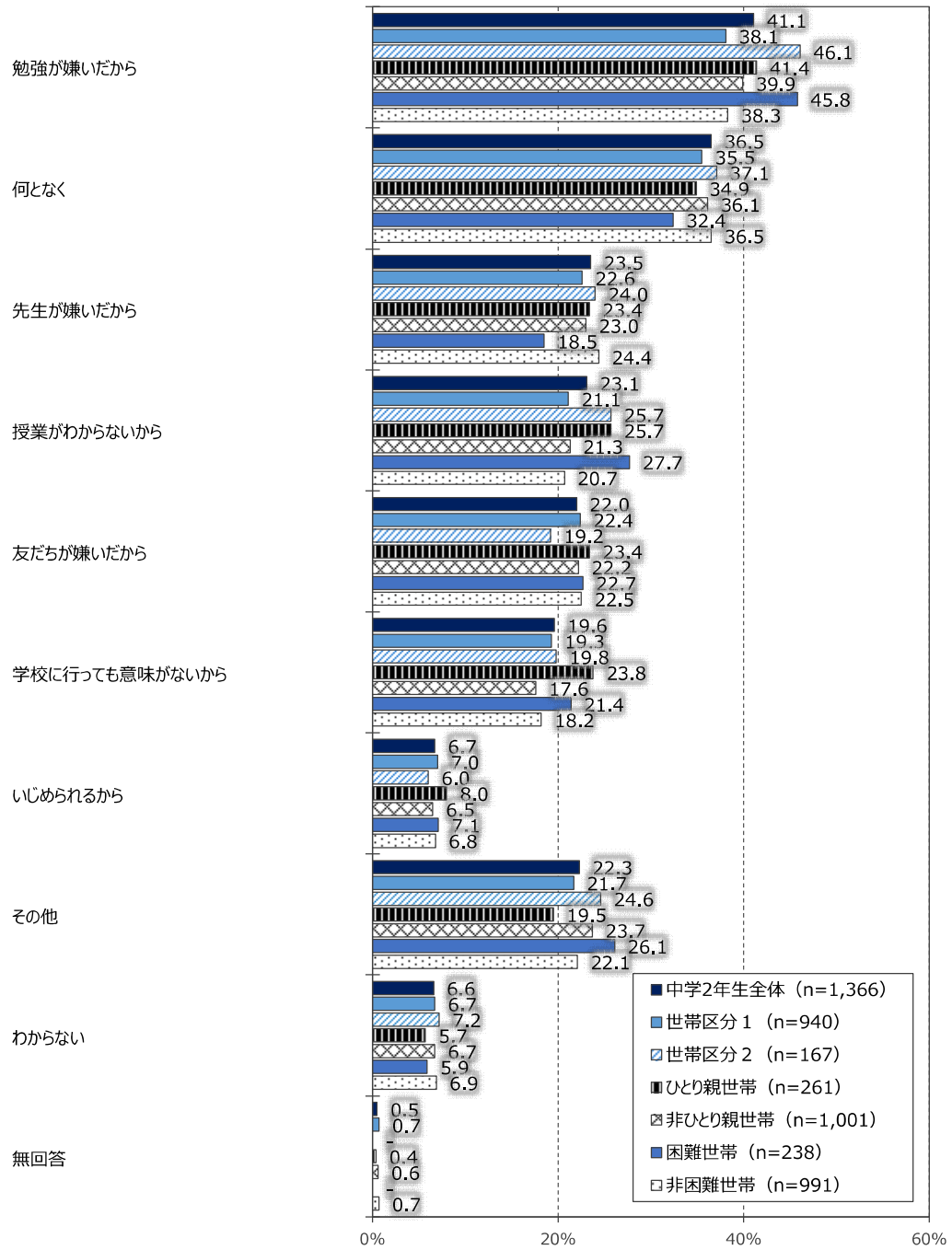
学校が『楽しくない』と答えた人の理由については、小学生及び中学生ともに「勉強が嫌いだから」が4割を占め最も高く、次いで「何となく」となっている。

また、小学生の世帯区分2は世帯区分1より「授業がわからないから」の割合が高くなっている。

学校が楽しくないと思う理由(小学5年生)



学校が楽しくないと思う理由(中学2年生)

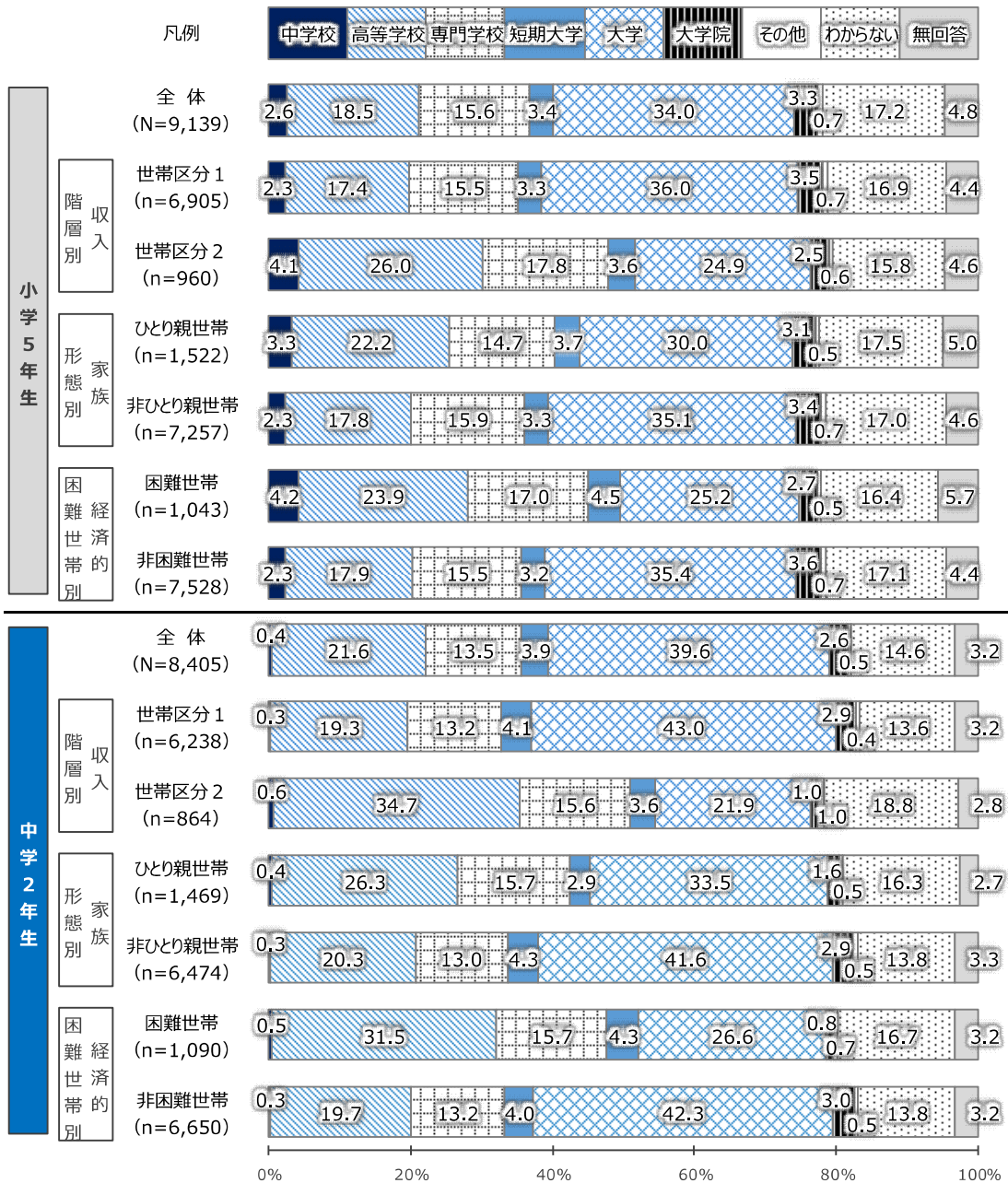


問 27 あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

将来どの学校まで進学したいかについては、小学生及び中学生ともに「大学」が3割を占め最も高く、次いで「高等学校」、「専門学校」となっている。なお、「わからない」は小学生及び中学生ともに1割以上である。

また、小学生の世帯区分2と中学生の世帯区分2、困難世帯は「高等学校」の割合が最も高くなっている。

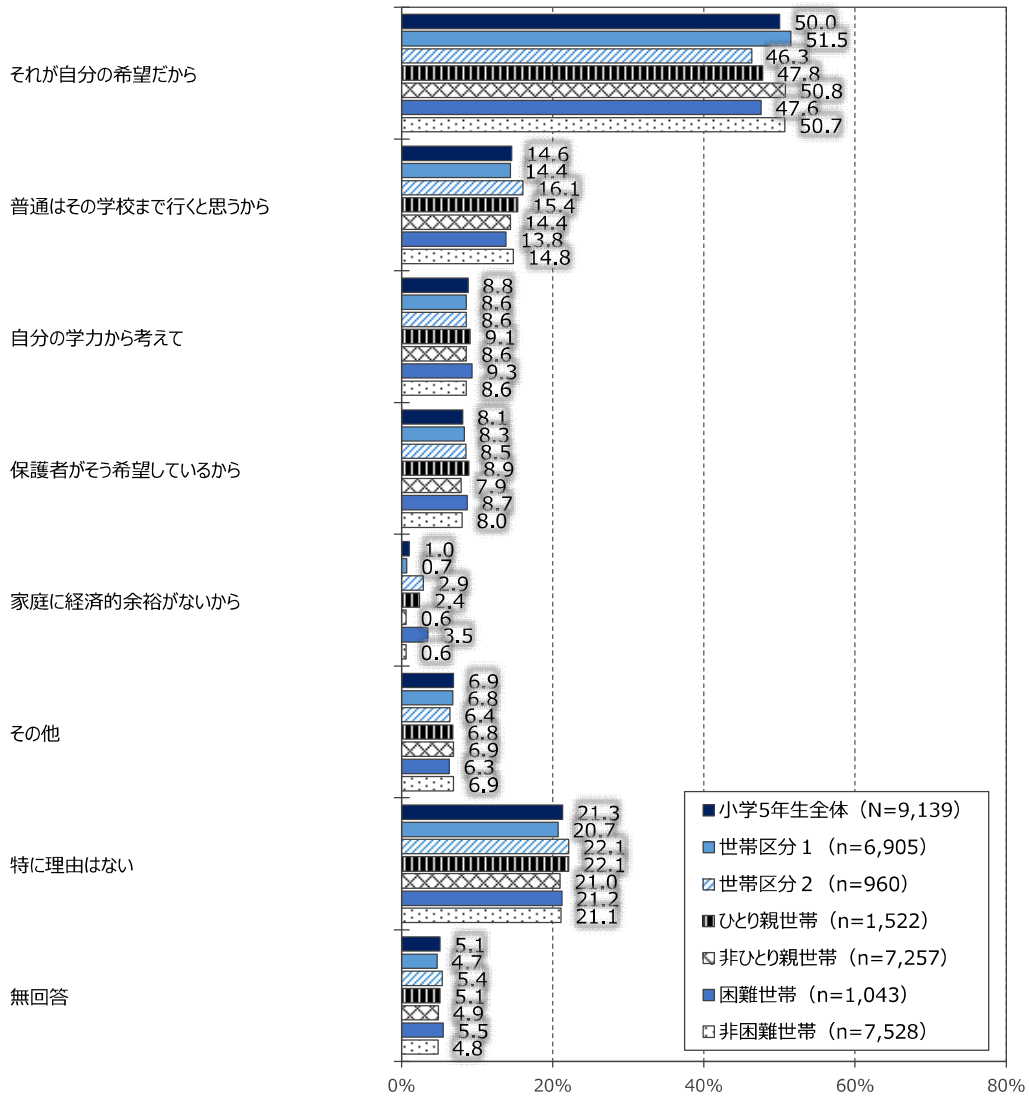
進学を希望する学校



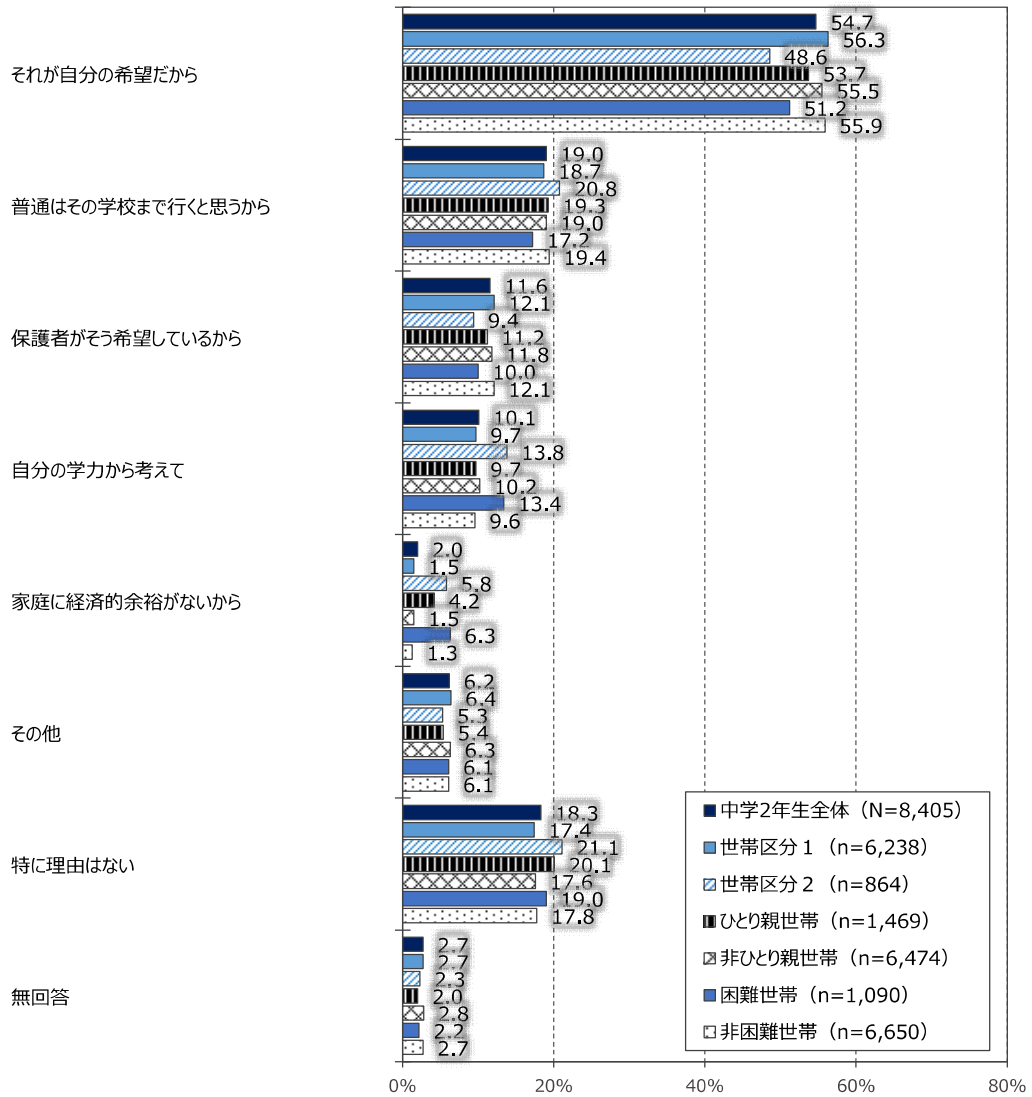
問 28 あなたが問 27 のように考える理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

将来どの学校まで進学したいかの理由については、小学生及び中学生ともに「それが自分の希望だから」が5割を占め最も高く、次いで「普通はその学校まで行くと思うから」となっている。
 なお、「家庭に経済的余裕がないから」は小学生及び中学生とも数パーセントにとどまっている。

その学校まで進学したいと考える理由(小学5年生)



その学校まで進学したいと考える理由(中学2年生)



4. あなたの考えや気持ちについて

問 29 あなたは、将来の夢・希望や目標を持っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

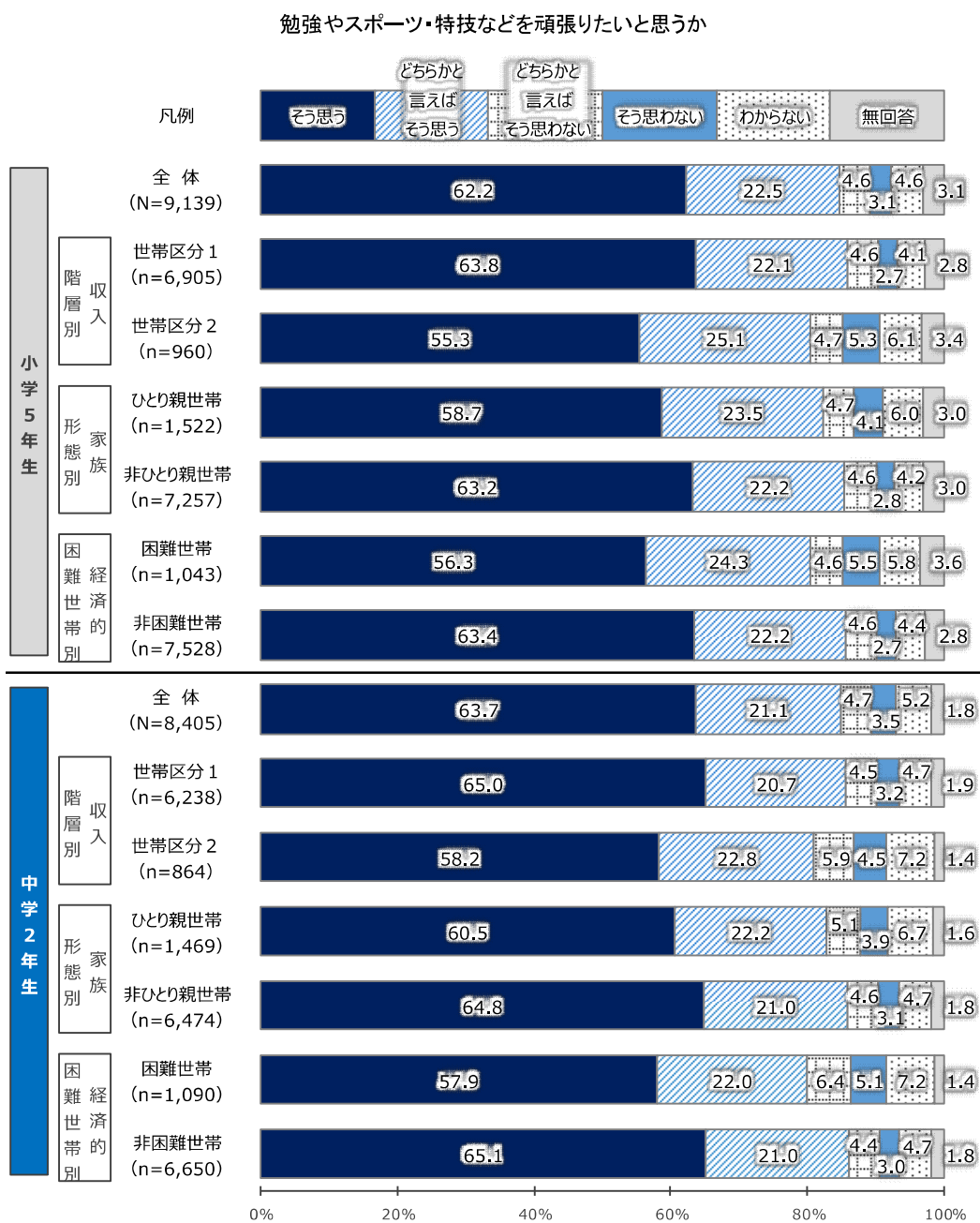
将来の夢・希望や目標については、小学生は「持っている」が76.3%を占め、「持っていない」が8.8%、「わからない」が11.9%となっている。一方、中学生「持っている」が59.9%、「持っていない」が17.0%、「わからない」が21.2%となっている。



問 30 あなたは、今、勉強やスポーツ・特技などを頑張りたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

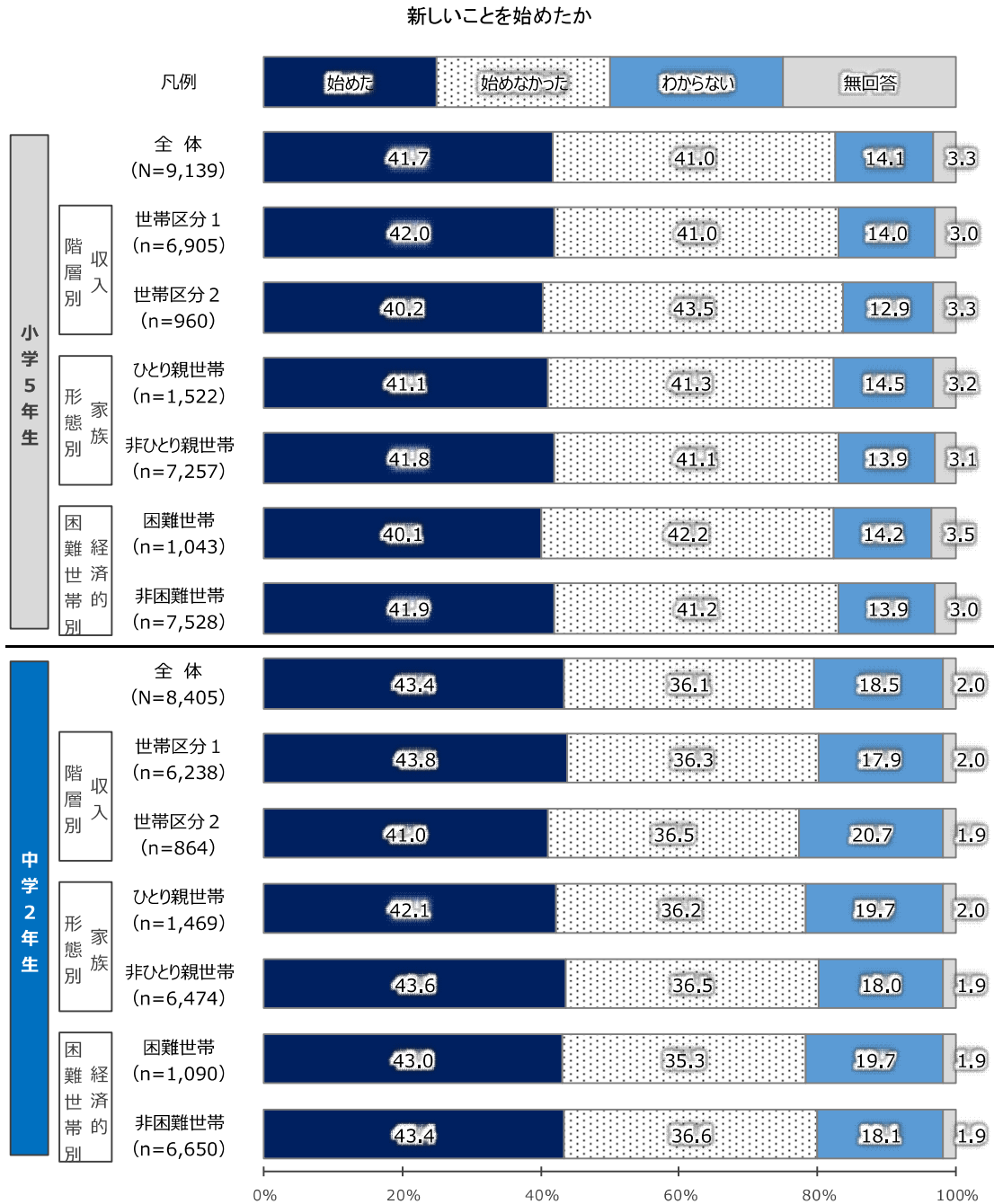
勉強やスポーツ・特技などを頑張りたいかについては、小学生は「そう思う」が62.2%、「どちらかといえばそう思う」が22.5%と、これらを合わせた『そう思う』は8割強を占めており、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計）は7.7%にとどまっている。一方、中学生においても「そう思う」が63.7%、「どちらかといえばそう思う」が21.1%と、これらを合わせた『そう思う』は8割強を占めており、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計）は8.2%にとどまっている。

また、小学生及び中学生ともに、世帯区分2は世帯区分1より、困難世帯は非困難世帯より「そう思う」の割合が低くなっている。



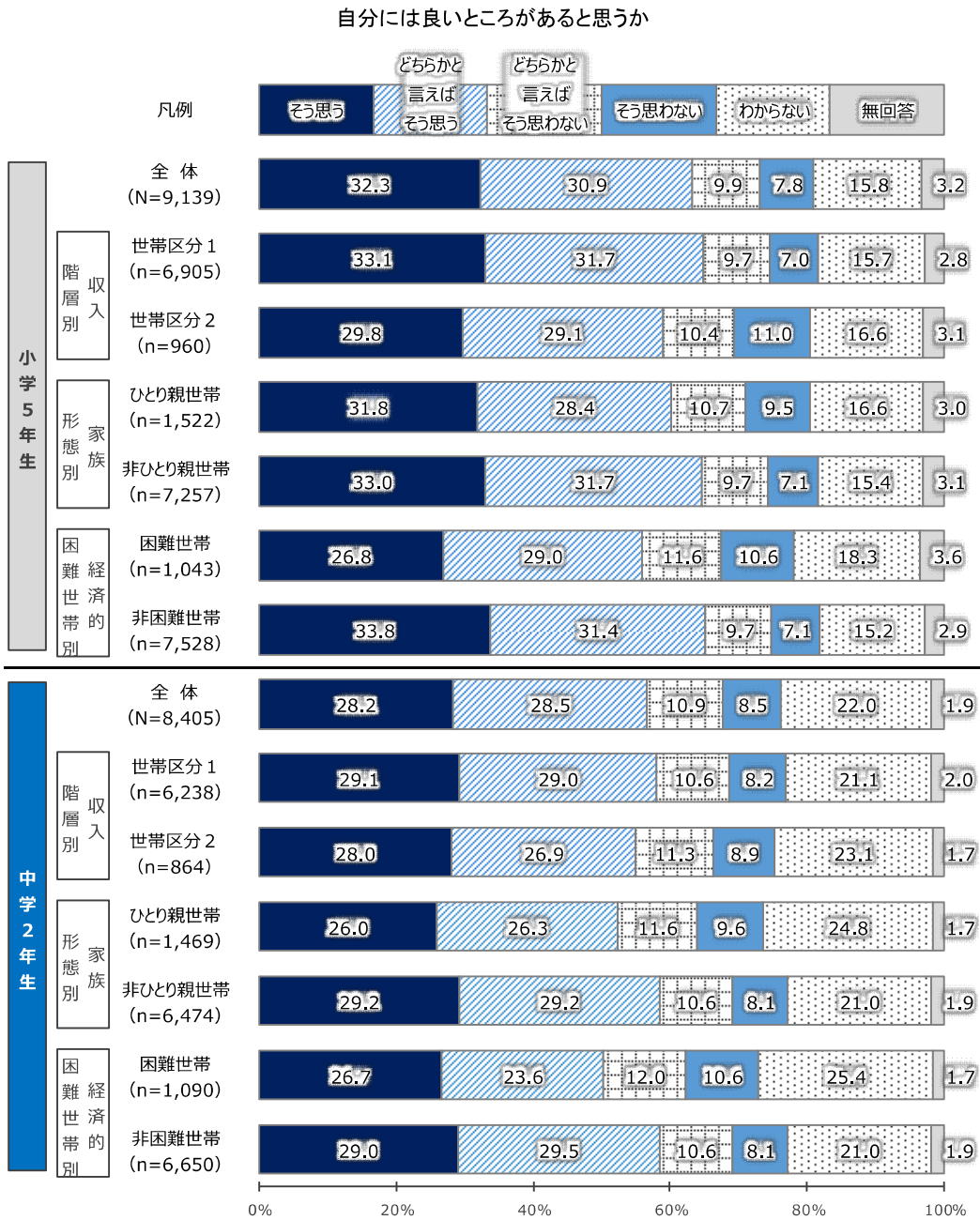
問 31 あなたは、この1年間で新しいこと（スポーツや趣味など）を始めましたか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1年間に新しいことを始めたかについては、小学生及び中学生ともに「始めた」が4割、「始めなかった」が3～4割で拮抗しており、「わからない」が1割以上となっている。



問 32 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

自分には良いところがあるかについては、小学生は「そう思う」が32.3%、「どちらかといえばそう思う」が30.9%と、これらを合わせた『そう思う』は6割以上を占めており、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計）は17.7%にとどまっている。一方、中学生は「そう思う」が28.2%、「どちらかといえばそう思う」が28.5%と、これらを合わせた『そう思う』は半数以上を占めており、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計）は19.4%にとどまっている。また、小学生の困難世帯は非困難世帯より「そう思う」の割合が低くなっている。

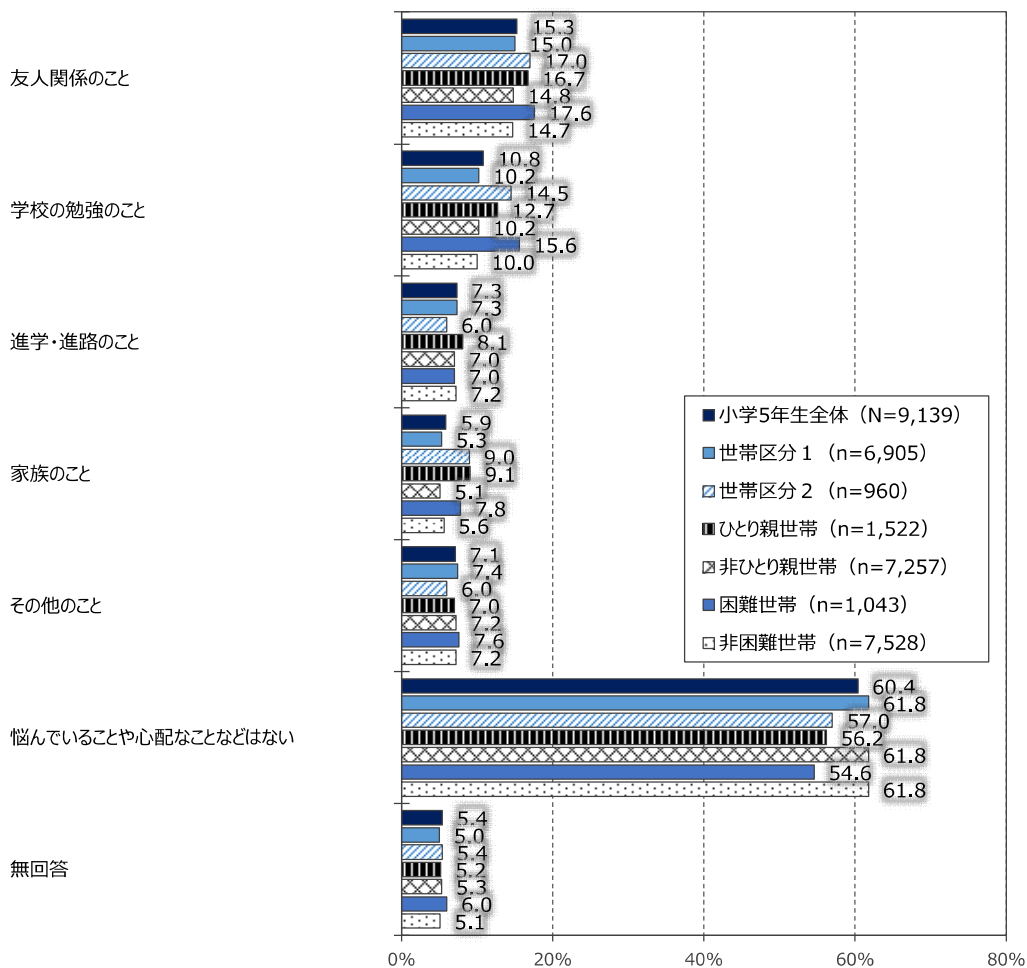


問 33 あなたが今悩んでいることや心配なこと、困っていることや誰かに相談したいと思っていることがあれば教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

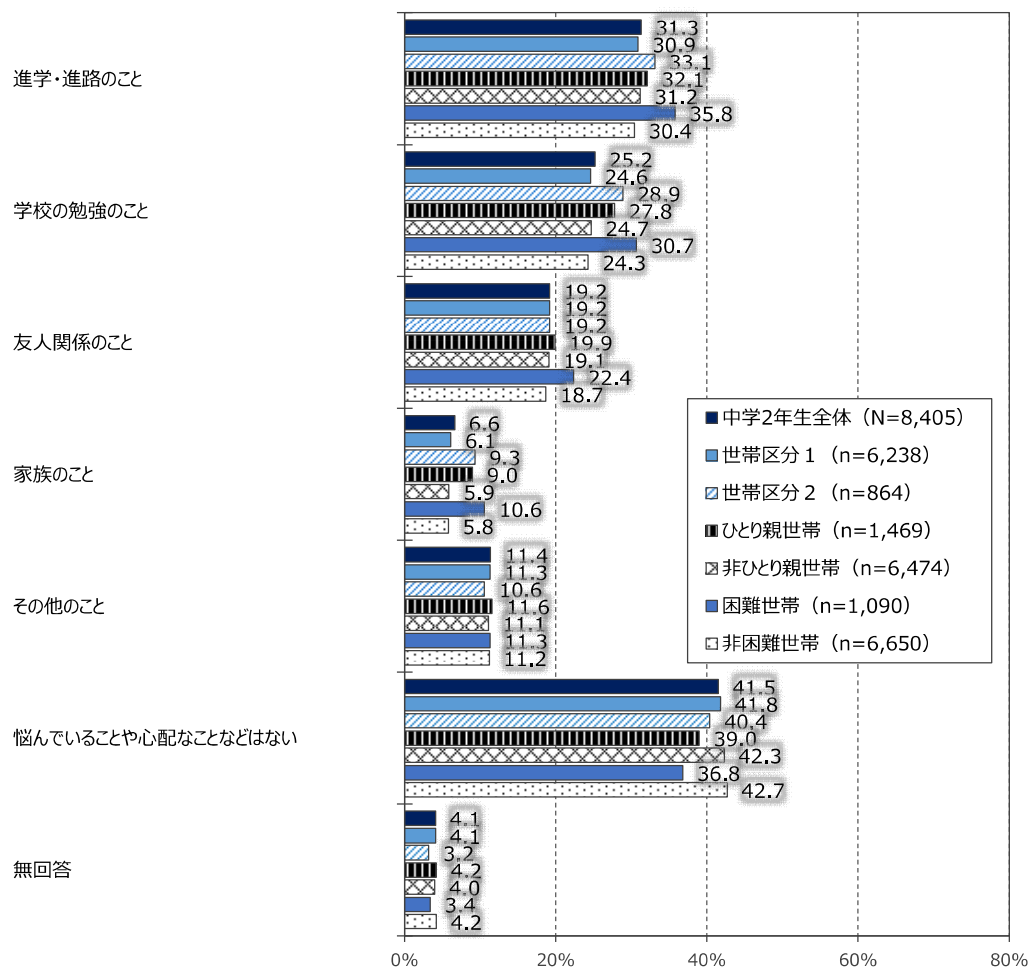
悩んでいることや心配なこと、相談したいと思っていることについては、小学生は「悩んでいることや心配なことなどはない」が60.4%を占めるものの、「友人関係のこと」(15.3%)、「学校の勉強のこと」(10.8%)が上位にあがっている。一方、中学生も「悩んでいることや心配なことなどはない」が41.5%をしめるものの、「進学・進路のこと」(31.3%)、「学校の勉強のこと」(25.2%)、「友人関係のこと」(19.2%)が上位にあがっている。

また、小学生の世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「悩んでいることや心配なことなどはない」の割合が低くなっている。

悩んでいることや心配なこと、困っていることや誰かに相談したいと思っていること(小学5年生)



悩んでいることや心配なこと、困っていることや誰かに相談したいと思っていること(中学2年生)

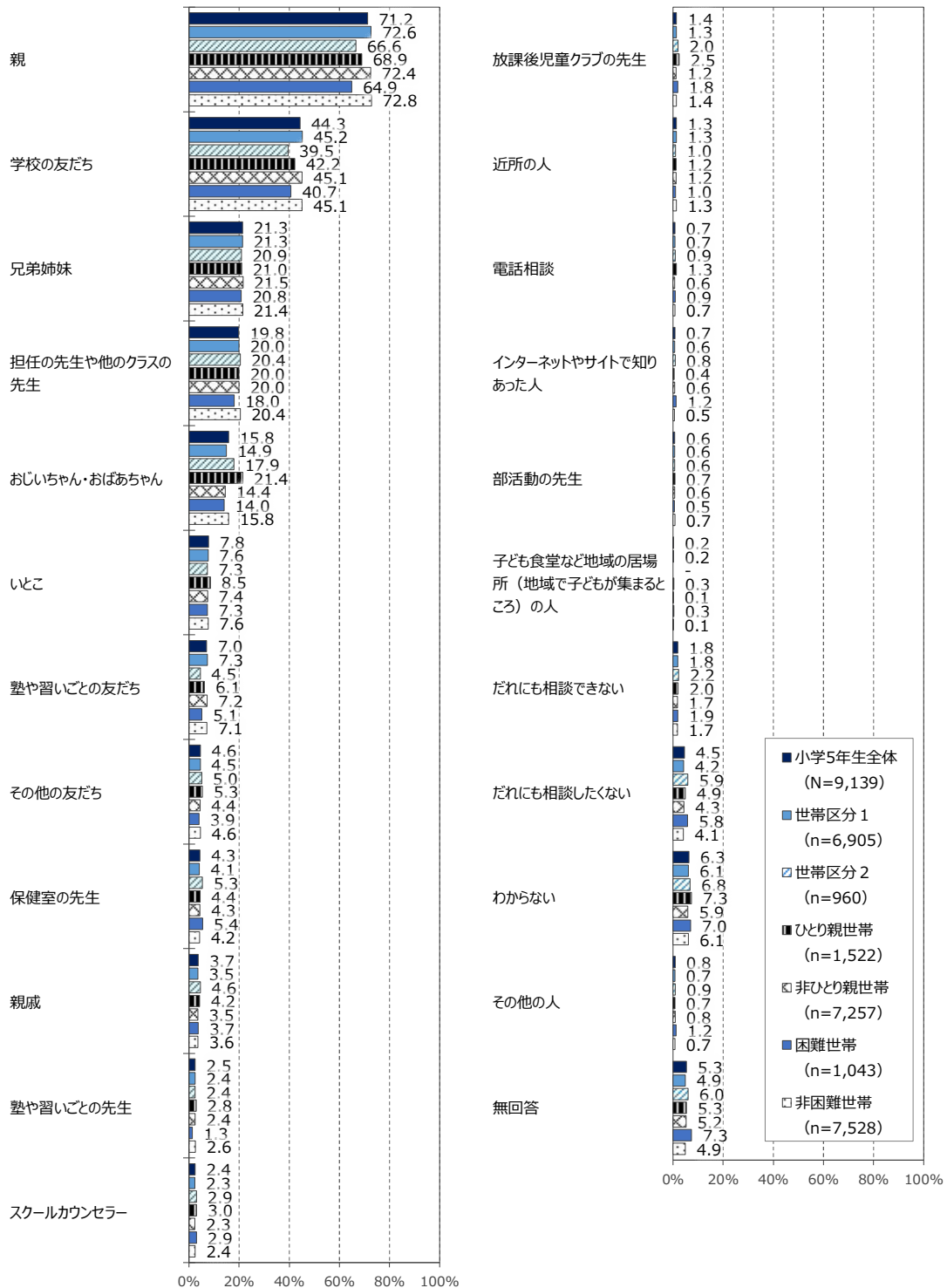


問 34 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、誰かに相談しますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

悩んでいるときに相談相手については、小学生は「親」(71.2%)の割合が最も高く、次いで「学校の友だち」(44.3%)となっている。一方、中学生は「学校の友だち」(58.3%)、「親」(57.3%)の割合がほぼ同率で最も高くなっている。

また、小学生及び中学生ともに、困難世帯は非困難世帯より「親」の割合が低くなっている。

いやなことや悩んでいることの相談相手(小学5年生)



いやなことや悩んでいることの相談相手(中学2年生)

